

「外食時の飲み物」に関する『食ベログ』調査結果（回答者数：15,797人）
8/1「世界ビール・デー」、8/4「ビアホールの日」を前に、イマドキの飲酒事情を紹介
「とりあえずビール」は健在！男性6割、女性4割が“とりビー派”
1番人気は「ビール」！“ビール党”は幅広い年代に分布するも、
20代では“とりビー派”（約35.1%）、“非とりビー派”（約31.7%）と、二極化も！？

株式会社カカクコム（東京都渋谷区 代表取締役社長 田中 実、東証コード：2371、以下カカクコム）が運営するランキングとクチコミのグルメサイト『食ベログ（<http://tabelog.com/>）』がサイト利用者に実施した、「外食時の飲み物に関するアンケート」結果から、今回はビールに関する調査結果を一部抜粋してご紹介します。

来る8月1日（金）は「世界ビール・デー」*、8月4日（月）は「ビアホールの日」**と、ビールにまつわる記念日が連続していますが、昨今よく聞く、「若者のビール離れ・アルコール離れ」について、はたして実態はどうか、探ってみました。

（*アメリカ カリフォルニア州サンタクルーズ発祥の記念日、**「日本記念日協会」認定）

～トピックス～

◆飲酒状況：すべての年代で半数近くが「お酒好き」。20代の2割は少量飲酒の“ライトリンカー”

40代の57.1%を筆頭に、20代の48.2%まで全体を通じて半数近くが「お酒好き」と回答。飲酒量については、男性は「ビール中ジョッキ3杯程度」（25.1%）、女性は「ビール中ジョッキ2杯程度」（22.5%）が最多。また、20代については、お酒の量がもっとも少ない選択肢の「ビール コップ1杯程度」が19.4%と、全体結果（9.4%）を10ポイント上回り、実に2割近くの人が、外食の際にごく少量しかお酒を飲まない“ライトリンカー”であることが明らかに。

◆夜に飲みに行く頻度：“月1,2回ペース派”と“週1,2回ペース派”に分かれる。経営者は「週に2,3回程度」が最多。

職業別でみると、会社員や公務員などでは、「1ヶ月に1回程度」「2週間に1回程度」といった“月1,2回ペース派”と「週に1回程度」「週に2,3回程度」の“週1,2回ペース派”に分かれる結果となり、企業経営者・会社役員においては、「週に2,3回程度」（22.9%）がもっとも多く、会食・接待の機会が多い様子が見えがえる結果に。

◆外食時のお酒、1番人気はビール。「ビールしか飲まない」「ビール党」も20代～60代まで幅広く分布

外食時（夜）の1番好きな飲み物を聞いたところ、「国産の大手メーカーのビール」（33.8%）がダントツで、すべての年代においてトップに。また、「ビールだけを飲む・ほとんどビールを飲む」という“ビール党”の年代分布をみると、30代～60代以上では11%程度、20代ではその割合が若干下がるものの7.5%の人が“ビール党”であることがわかり、「ビール離れ」が懸念される若年層でも一定のビール支持者が存在している。

◆“とりあえずビール”は健在。男性6割強、女性約4割が「1杯目にビールを必ず飲む・ほぼ毎回飲む」

男性の6割強、女性の約4割が1杯目にビールを「必ず飲む・ほぼ毎回飲む」と回答し、“とりあえずビール”が健在であることが確認された一方、女性では「全く飲まない」という回答が25.4%（男性は10.2%）と、実に4人に1人が1杯目にビールを飲まないことが判明。また、20代では、「必ず飲む・ほぼ毎回飲む」（35.1%）と「ほとんど飲むことはない」（31.7%）がともに3割を超えており、“とりビー派”と“非とりビー派”が拮抗している。

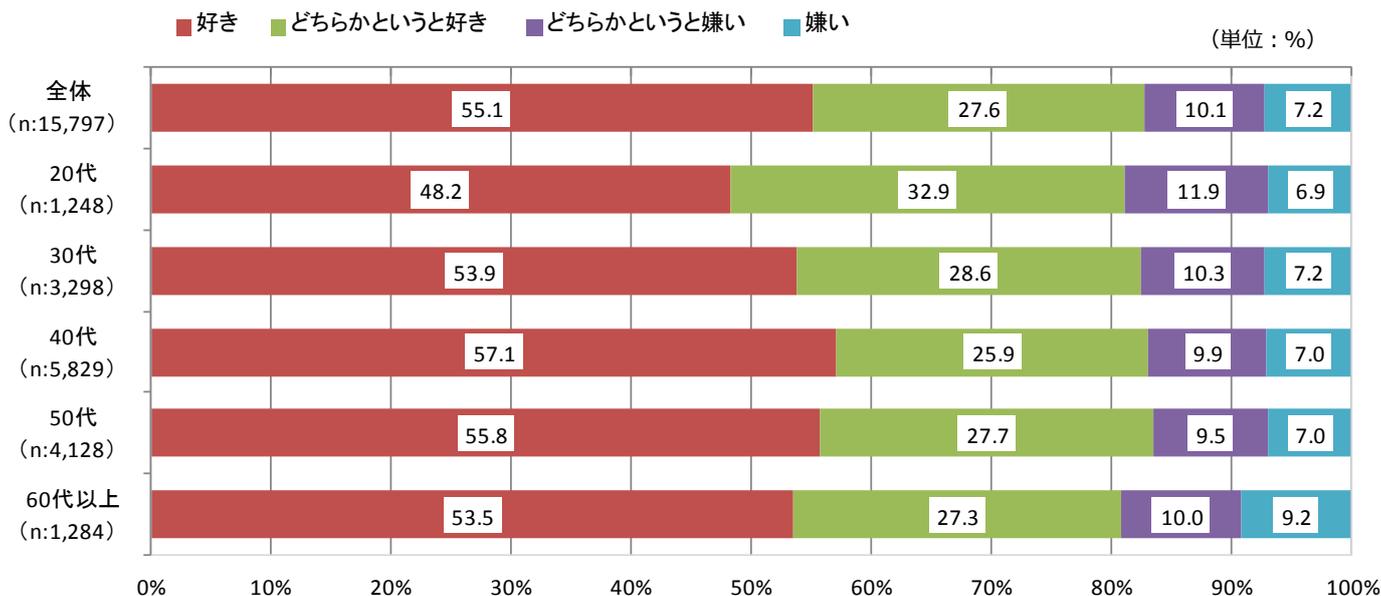
～結果詳細～

◆飲酒状況：すべての年代で半数近くが「お酒好き」。20代の2割は少量飲酒の“ライトリンカー”

各年代の半数程度が「お酒好き」

お酒を「好き」と回答した人の割合は55.1%となりました。年代別で見ると、20代では「好き」と回答した人の割合が48.2%と、他の年代と比べてやや少なくなっていますが、「どちらかという好き」(32.9%)の割合は高くなっています。「好き」「どちらかという好き」を合計すると81.1%となり、全体の合計(82.7%)とも大差がないことから、20代ではお酒を積極的に好んでいる人の割合がやや少ないものの、お酒を楽しむことに前向きな人は他の年代と同程度いるといえそうです。

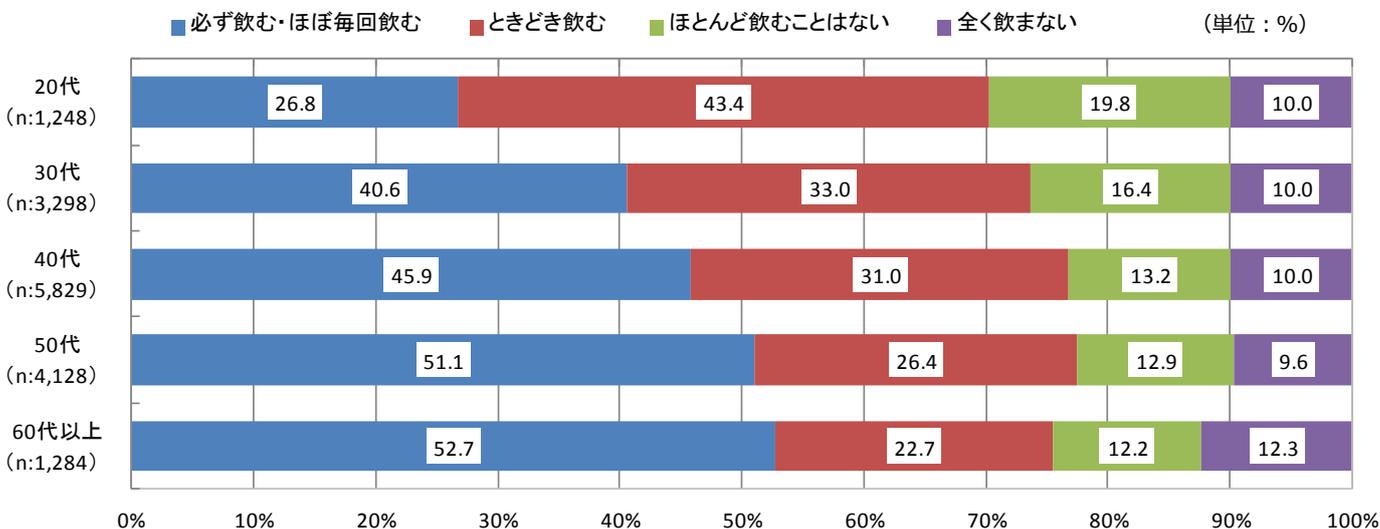
【グラフ1】あなたはお酒が好きですか？(SA)



外食の際の飲酒の有無：年代が上がるほど毎回飲む傾向

50代、60代では半数以上、30代、40代については4割以上が「必ず飲む、ほぼ毎回飲む」と回答したのに対して、20代では26.8%と低位にとどまる結果に。20代は「ときどき飲む」と回答した人が43.4%と最多となっており、他の年代と比べると、外食時にお酒を飲まないケースが多い模様です。

【グラフ2】あなたは夜の外食の際、お酒を飲みますか？(SA)



飲酒量：男性は「生中3杯程度」、女性は「生中2杯程度」が最多

全体でもっとも多かったのは「ビール 中ジョッキ3杯程度」(21.8%)、次いで「ビール 中ジョッキ2杯程度」(21.1%)。

男女別では、男性は「生中3杯程度」(25.1%)、女性は「生中2杯程度」(22.5%)が最多に。

平均と大きく異なる結果が出たのは20代で、「ビール 中ジョッキ3杯程度」の回答が全体結果(21.8%)と比べて6.1ポイント減の15.7%となる一方、お酒の量がもっとも少ない選択肢の「ビール コップ1杯程度」について、全体(9.4%)を10ポイント上回る19.4%となり、実に2割近くの人が、外食の際にごく少量しかお酒を飲まない「ライトリンカー」であることがわかりました。

【グラフ3】夜の外食の際に飲むお酒の量について、以下の中からお選びください。(SA)

※外食1回で飲むお酒の合計量を念頭に、1番近いと思う選択肢をお選びください。

(※以下のグラフ内の選択肢は「純アルコール量」を基準にしており、「ビール コップ1杯程度」から「ここにある選択肢よりもさらに多い」に下がるに従い、アルコール摂取量が多くなります。)

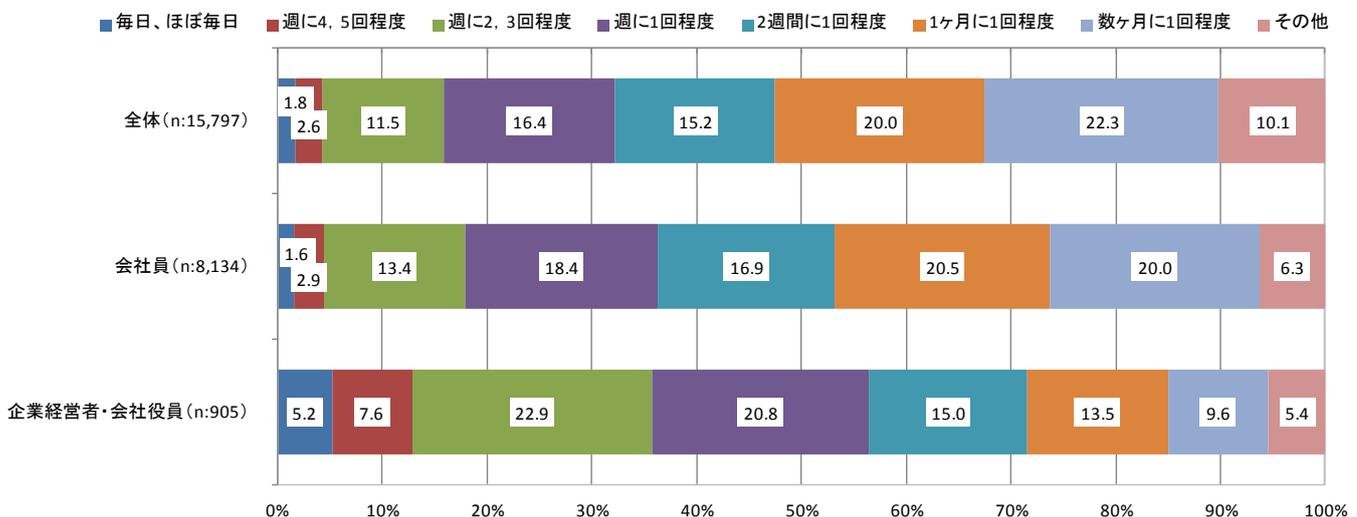


◆夜に飲みに行く頻度:会社員、公務員、自営業は“月1,2回ペース派”と“週1,2回ペース派”に分かれる。経営者は「週に2,3回程度」が最多

職業別でみたところ、会社員では、割合の高い順で「1ヶ月に1回程度」(20.5%)「数ヶ月に1回程度」(20.0%)「週に1回程度」(18.4%)「2週間に1回程度」(16.9%)「週に2,3回程度」(13.4%)となりました。公務員、自営業、自由業・個人事業主の分布、さらに男女別、年代別の分布についても同様の結果となり、全体を通じて“月1,2回ペース派”と“週1,2回ペース派”に分かれている模様です。なお、企業経営者・会社役員においては、「週に2,3回程度」(22.9%)がもっとも多く、次いで「週に1回程度」(20.8%)「2週間に1回程度」(15.0%)となり、会食・接待の機会が多い様子が見えられます。

【グラフ4】あなたが夜に飲みに行く頻度について、以下の中からお選びください。(SA)

(単位: %)



◆外食時のお酒、1番人気は「ビール」。「ビールしか飲まない」「ビール党」も幅広い年代に分布

1番好きな飲み物：トップは「ビール」。20代や女性では「ワイン」「カクテル」など「ビール」以外が人気

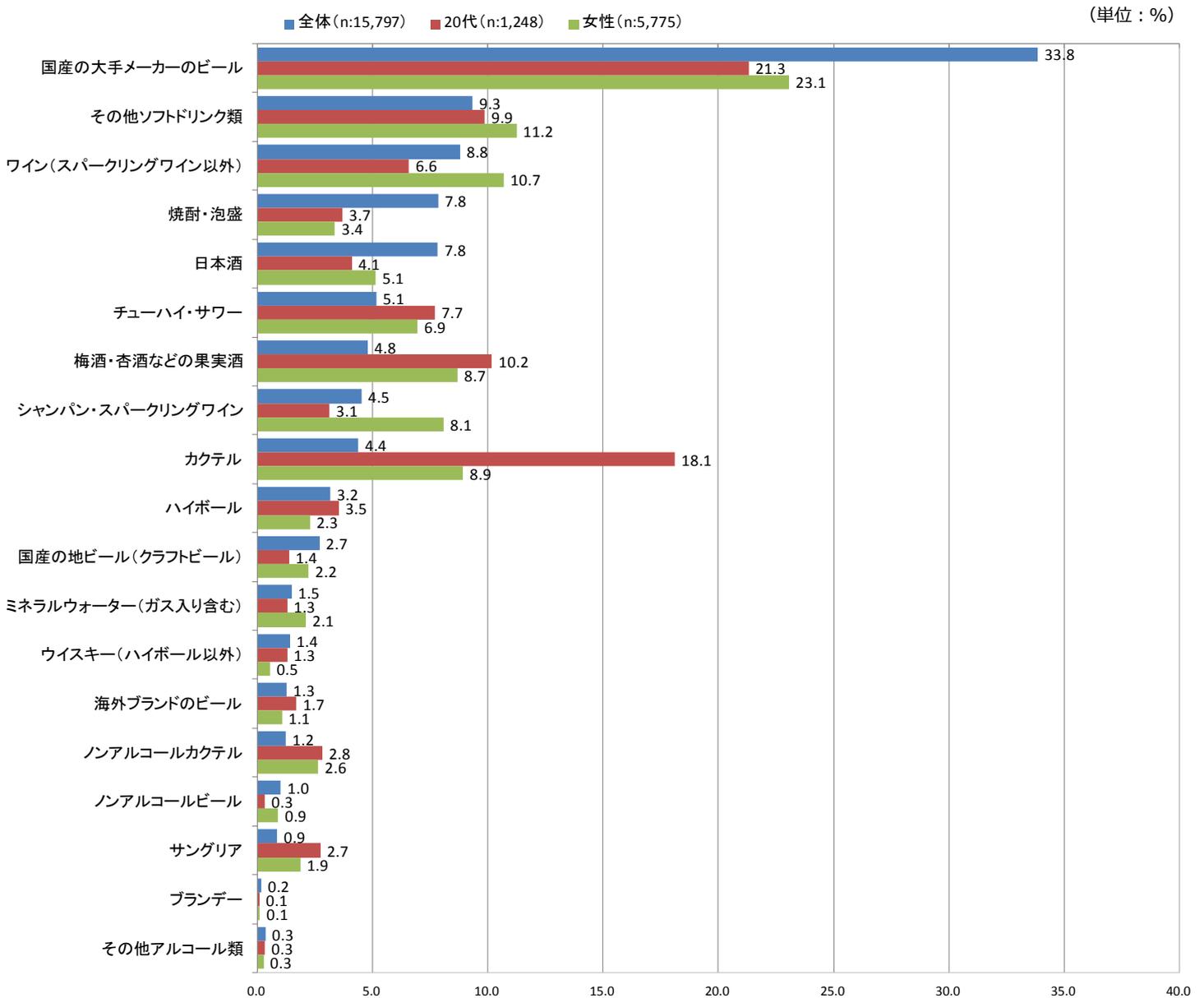
「国産の大手メーカーのビール」が33.8%でダントツとなり、ワイン（スパークリングワイン以外）（8.8%）、焼酎・泡盛（7.8%）、日本酒（7.8%）が続く結果となりました。（※「その他ソフトドリンク類」を除く）

「国産の大手メーカーのビール」は年代別でも全てトップとなりました。

ただ、20代においては、トップの「国産の大手メーカーのビール」（21.3%）に「カクテル」（18.1%）が迫り、3位には「梅酒・杏酒などの果実酒」（10.2%）がランクインするなど、ビールと比較すると、ドライな風味から甘口のもの、フルーティなものなど味の種類が豊富なお酒が人気を集める結果となりました。

なお、女性においても同様で、「ワイン（スパークリングワイン以外）」「シャンパン・スパークリングワイン」「梅酒・杏酒などの果実酒」「カクテル」など、バラエティに富んだお酒が同率で並びました。

【グラフ5】夜の外食の際に注文する飲み物で、一番好きなものを教えてください。（SA）



「飲み会をビールで飲み通す」"ビール党" 30代以上では各年代に約1割、20代でも7.5%存在

夜の外食において「ビールだけを飲む・ほとんどビールを飲む」を回答した"ビール党"の年代分布をみると、60代以上(11.9%)、50代(10.8%)、40代(11.0%)、30代(11.0%)、20代(7.5%)という結果に。30代~60代以上までは1割強、「ビール離れ」が懸念される20代についても7.5%とやや少ないものの一定数の"ビール党"の存在が明らかになりました。20代の中には、まだ飲酒経験が浅い人も含まれていると思われる、これからお酒に親しむうちに新たに"ビール党"となる人も潜在的に存在すると考えられます。

◆"とりあえずビール"は健在

夜の外食において、お酒のあるお店に入った際には、一部の高級レストラン等を除き、「とりあえずビール」という言葉に象徴されるように、まず1杯目にビールを飲むのが定番のスタイルといえます。現在も依然としてその存在感は大きいものの、20代・30代の若年層においてはその定番スタイルが通用しなくなっている模様です。

1杯目にビールを飲む頻度：健在の"とりbeer"。一方で20代や女性を中心に"非とりbeer派"の存在も

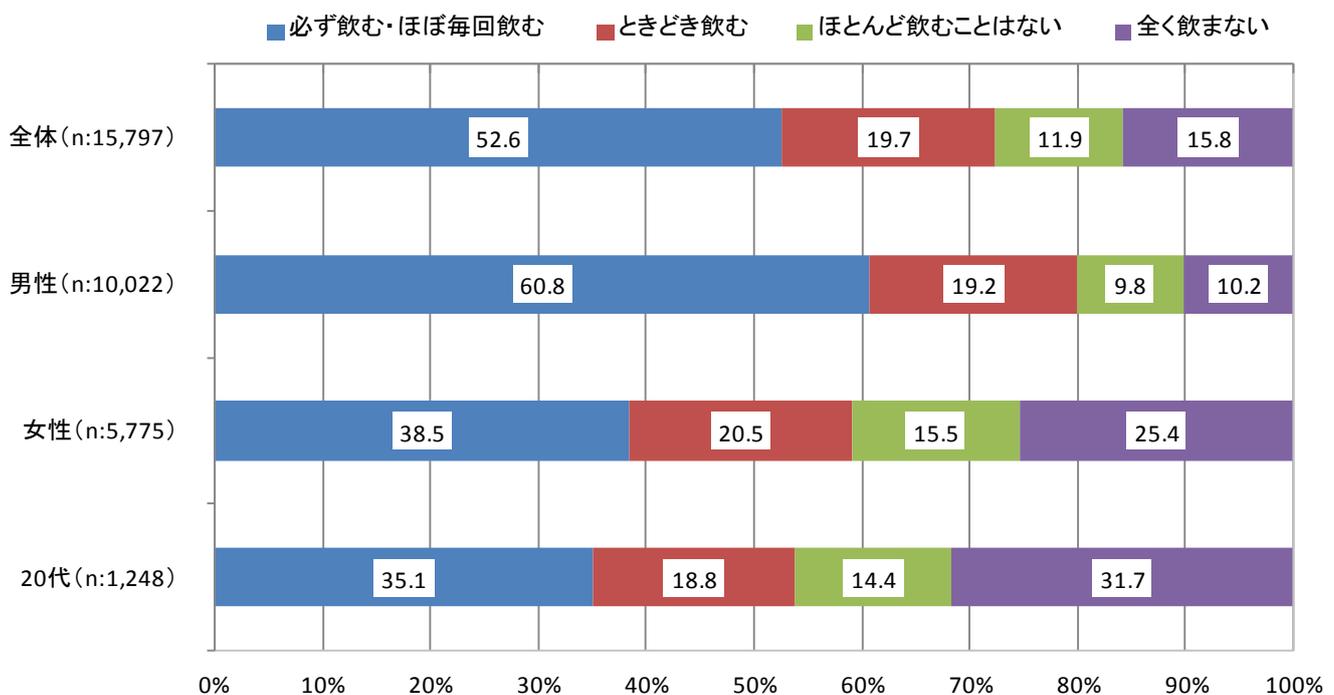
男性の6割強、女性の約4割が1杯目にビールを「必ず飲む・ほぼ毎回飲む」と回答し、「とりあえずビール」の健在が確認された一方、女性では「全く飲まない」という回答が25.4%（男性は10.2%）と、実に4人に1人が1杯目にビールを飲まないことがわかりました。「ほとんど飲むことはない」という回答も15.5%となり、40%強の女性は「とりあえずビール」の無い外食を楽しんでいるようです。

年代別にみると、20代では、「必ず飲む・ほぼ毎回飲む」(35.1%)と「ほとんど飲むことはない」(31.7%)がともに3割を超えており、「とりbeer派」を"非とりbeer派"が拮抗していることが明らかに。

20代をさらに男女別にわけてみると、20代女性においては、41.8%が「ほとんど飲むことはない」と回答、「必ず飲む・ほぼ毎回飲む」という回答は26.0%で、「非とりbeer派」が多数派となっている模様です。

【グラフ6】夜の外食の際、1杯目にビールを飲む頻度を教えてください。(SA)

(単位：%)



1杯目によく注文する飲み物：「ビール」が圧倒的も、20代・30代では他のお酒にも存在感

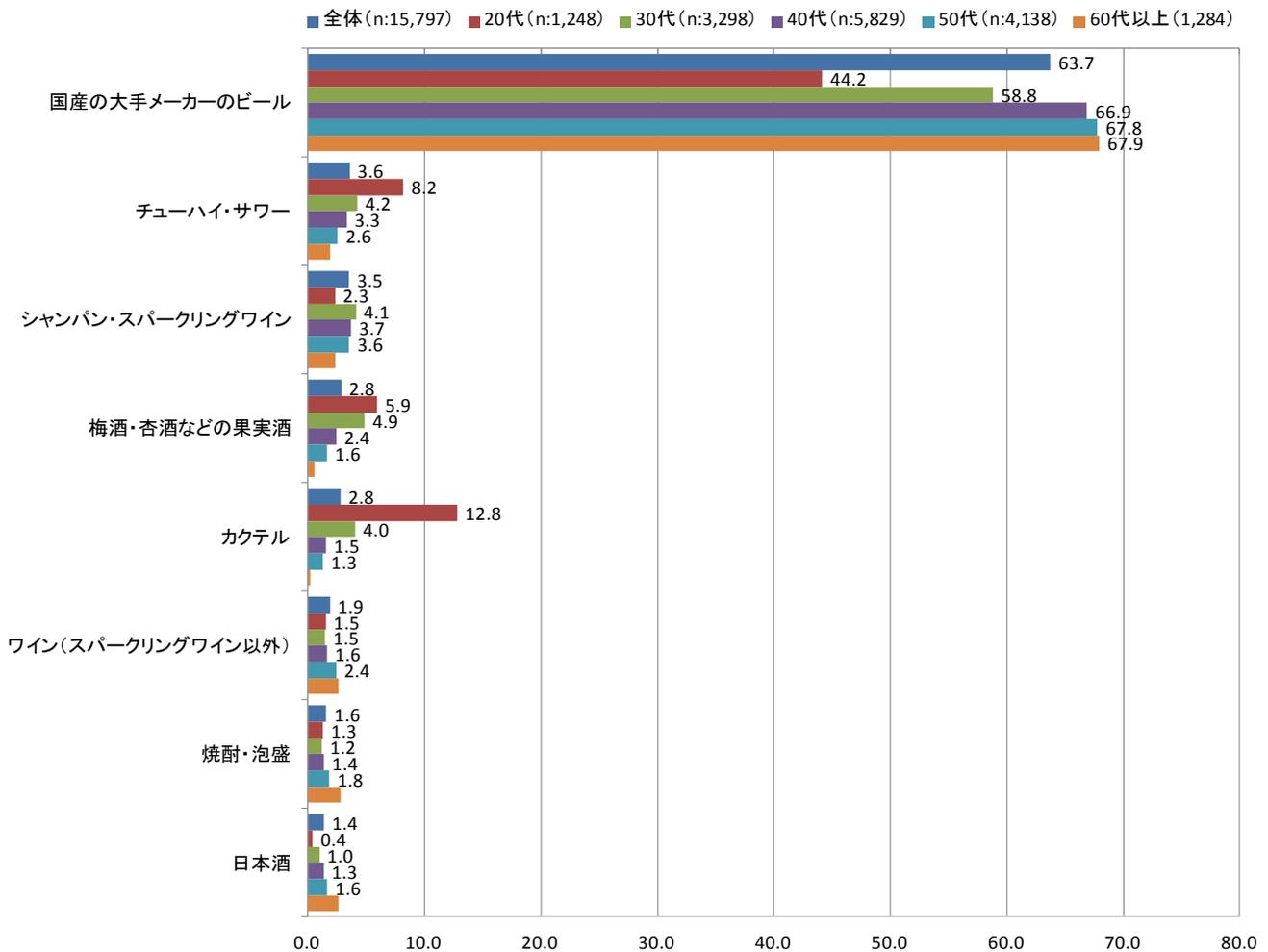
40代以上では実に70%近くが「国産の大手メーカーのビール」と回答、「その他ソフトドリンク類」を除くと、他の飲み物の割合は最高でも3%台と「ビールの圧勝」を感じさせる結果となりました。

30代では、「国産の大手メーカーのビール」が58.8%と6割弱を占めるものの、「梅酒・杏酒などの果実酒」「チューハイ・サワー」「シャンパン・スパークリングワイン」「カクテル」がそれぞれ4~5%弱の割合を占め、ビール以外のお酒を楽しむ層が一定数いることがわかります。

そして、20代においては、その傾向がより顕著な結果に。「国産の大手メーカーのビール」は44.2%の半数割れとなり、「カクテル」(12.8%)が1割を超え、「チューハイ・サワー」(8.2%)「梅酒・杏酒などの果実酒」(5.9%)が続く結果となりました。

【グラフ7】夜の夕食の際に、1杯目によく注文するものを教えてください。(SA)

(単位：%)



【総評】

今回の調査では、全体を通じて主に20代で、他の年代とは異なる結果が散見されました。「若者のビール離れ・お酒離れが進んでいる」というニュースがたびたび報じられていますが、本調査でもそれを感じさせる面はあった一方で、一定数の「ビール党」が存在したことや、他の年代よりも飲酒経験が少ないことをふまえると、「まだビールの味の美味しさに気づけていないだけ」という見方や、「苦味を感じるビールよりは、ソフトドリンク感覚で飲める商品もあって種類も豊富なカクテルやチューハイを飲酒の契機にしている」という見方もできそうです。

30代も含め、今後若年層がどのような「飲酒キャリア」を積んでいくかによって、「とりあえずビール」や「ビール離れ」の行く末が決まってくるかもしれません。

【調査パネル】

調査エリア：全国

調査対象：20歳以上の食べログID登録ユーザー

調査方法：メールマガジンによる調査

回答者数：15,797人（男性10,022人、女性5,775人）

調査期間：2014年7月8日～2014年7月11日

調査実施機関：株式会社カカコム

※四捨五入による端数処理のため、合計が100%にならないことがあります。

『食べログ』概要

“信頼のできるレストラン選び”をコンセプトに2005年3月開設。ユーザーから寄せられたクチコミと点数評価から、独自に設けたロジックでレストランランキングを算出し、提供しています。

◆点数について：<http://tabelog.com/help/score/>

◆口コミ・ランキングに対する取り組み：<http://tabelog.com/help/policy/>

【食べログデータ】（2014年3月末現在）

掲載レストラン数：約77万件、クチコミ投稿数：約522万件、写真投稿点数：約1,966万点

月間総PV：13億3,311万PV、月間利用者数：5,748万人（＜内訳＞PC：2,519万人、スマートフォン：3,086万人、フィーチャーフォン：144万人）

▼『食べログ』SNS公式アカウント

Facebook：<http://www.facebook.com/tabelog>

Twitter：<http://twitter.com/tabelog>

【報道に関するお問い合わせ先】

株式会社カカコム 広報室 E-mail：pr@kakaku.com

データの引用・転載時のクレジット表記について

本調査結果の引用・転載の際は、必ずクレジットを明記くださいますようお願い申し上げます。

クレジット表示例

- ・「食べログ」調べ
- ・ランキングとクチコミのグルメサイト「食べログ」が実施した調査によると…